

JRほすびたる

第173号(2015年10月1日号)

発行責任者 事務部長
編集/発行 JR仙台病院
地域医療連携室
TEL 022-266-9671

理念

高度で良質な医療と心のこもった患者サービスで地域社会に貢献し、調和のとれた企業立病院をめざします。

院是
調和

～基本方針～

1. 高度かつ良質な医療を提供し、地域医療機関との機能連携を強化して企業立病院として社会貢献します。
2. プライバシーの尊重と最善のアメニティに配慮し、安心と満足が得られる快適な療養環境を整備します。
3. 全スタッフが一丸となって心のこもった患者サービスを提供します。
4. 日々研鑽に努め、責任を持って仕事に携わる質の高い医療人を育成します。
5. 医療環境の変化に対応できる健全な医療経営に努めます。

当院は医療機能評価の認定を受けています



“善悪のけじめ”



皮膚科
出口 医師

世間の人を人相や外見で容易に判断できないのと同様、皮膚の腫瘍も良く知られている良性・悪性の腫瘍のどれにあてはめて診断すべきか厄介な場合がよくあります。なまじ普段から自分自身や他人のお肌によくみかける、経験的に誰もが良性とわかっている腫瘍とまぎらわしい、あるいはそっくりであるために発見が遅れてしまい悲惨な結末を迎えるケースがあります。

発生頻度で一番多いのは脂漏性角化症、色素性母斑と基底細胞癌の診断です。



脂漏性角化症は30代になるとでき始める黒褐色のシミ～結節状の良性腫瘍で、多かれ少なかれどなたでも持っている皮疹です。一般の方にとっては、これと色素性母斑(いわゆるホクロ)や基底細胞癌のみきわめが困難です。前二者と後者では予後や治療法が全く異なるのは当然ですが、幸い皮膚科専門医であればこの三者の診断は比較的容易です(もっともこの三者はホクロの癌=悪性黒色腫と似通っていることも多いので油断はできません)。またちょっとしたお肌の傷・けがをきっかけに発症に気づく血管腫についても、まったく良性の腫瘍、めったに全身転移はしないが局所で大きくなったり切除しても繰り返し再発するタフなもの、そして悪性黒色腫より予後の悪い血管肉腫などさまざまです(血管腫とよく似たタイプの悪性黒色腫すらあります)。

これらの疾患は最初から良性・悪性の区別が決まっており、良性のものから悪性のものに変わるということはありません。一方、前癌病変の日光角化症や表皮内有棘細胞癌のボーエン病などのように本格的な癌に進展する前に対処しなければいけない疾患もあります。また本来良性腫瘍だったものが悪性化するケースとして、汗を出す汗腺から発生する汗孔腫→汗管癌、類器官母斑→基底細胞癌、など多々あります。こういうケースではいつ悪いものに化けたのか、長年出物とつきあってこられた患者さんからすると裏切られた思いがするかもしれません。



JR仙台病院では、当院の診療のご案内やドック健診等に関する情報ホームページで配信しております。

ホームページアドレス <http://www.jr-hospital.aoba.sendai.jp/>

新任スタッフの紹介

よろしくお祈いします

小野寺 一義 (おのでら かずよし)

臨床検査科：副医療技師長

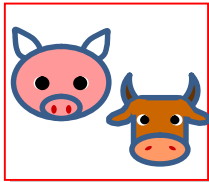
出身地：岩手県 趣味：特技： サッカー観戦

紹介： JR 東京病院から 9 月 1 日付で仙台に参りました。小野寺です。
一日でも早く環境に慣れ病院の一員として患者さまのお力になれるよう努力して参ります。宜しくお祈いします。



～牛肉と食中毒について～

牛の肝臓(レバー)に続き、平成 27 年 6 月から豚の肉や内臓(レバー等)を生食用として販売・提供することが禁止されました。



牛、豚等の腸内には、**食中毒の原因となる腸管出血性大腸菌やサルモネラ属菌が存在します**。食肉にする過程で、これらの細菌が肉やレバーに付着してしまうことがあるため、生で食べることは食中毒リスクを伴います。また、豚の肉を生で食べると、E 型肝炎ウイルスに感染し、重篤な肝障害を引き起こす可能性もあります。現在のところ、有効な予防策はないため、**生で食べないことが、唯一の予防法です**。

また、生食以外でも気を付けなければならないことがあります。



【生食以外での注意点】

- ① 肉やレバーの内部まで病原体が入り込んでいることがあるので、**中心部まで火を通す**ことが大切です。
 - ② 生肉を取り扱った調理器具(箸、トング、まな板等)にも病原体がついていることが考えられるので、**必ず専用の清潔な調理器具を用意して**、使い分けましょう。
- 肉は良質なタンパク源であり十分加熱して食べれば安全です。バランスよく食事に取り入れて下さい。

【 衛生試験室 副医療技師長 藤井一男 】



ユニット『Liberoba』のコンサート



イベント『病院でプロの演奏が聴ける』を 9 月 10 日午後 3 時から開催しました。

風景が見えるようなピアノと評され、デビュー以来 30 枚以上の CD をリリースし続ける中村由利子、そして癒しと情熱を奏で続けるチェロの植草ひろみ、二人の魅力を最大限に引き出すユニット『リベロバ』の演奏会を開催しました。曲目は『七つの子』、クラシック音楽サン＝サーンスの『白鳥』、映画音楽のエンリオ・モリコーネ『ニューシネマパラダイスより』など、中村由利子オリジナル曲を含む数曲とアンコールに答えて、約 1 時間 30 分演奏していただきました。優しい音色に癒され、心に染み入る演奏をたくさんの皆さまにお楽しみいただけますように病院スタッフが準備をしました。

入院や外来の患者さまなど、多くのご来場の皆様は、曲のテンポに合わせ思い思いに音楽を楽しみ、表情が和らぎ、心からの拍手を送っていました。穏やかな癒されたひと時でした。

